

CASE 1

秋田杉をアロマテラピーに

[アトリエアンダンテ | <https://www.atelierandante2015.com/>]

〒010-0001 秋田県秋田市中通 4-1-52-302 / TEL. 090-5849-9930
E-mail: atelierandante2015@gmail.com

「秋田の眠れる資源が再評価される製品を」と佐藤智子代表



使い道のなかった杉の葉から、高品質なエッセンシャルオイルを抽出

秋田杉のエッセンシャルオイルを作りたい

秋田杉の葉を原料としたエッセンシャルオイルが、県内外のアロマテラピー専門店などで販売されている。まるで森林浴をしているような香りは、疲労回復やストレス解消などの効果があり、スギ花粉症の予防効果も期待されている。製品化を実現したのは1人の女性起業家だ。

「アトリエアンダンテ」代表の佐藤智子さんは、専業主婦をしながら「いつか、秋田の資源を活用したモノづくりをしたい」という思いを温めていた。二男の中学卒業を機に、本格的に起業に向けて活動を開始。趣味のアロマテラピーがきっかけとなり、「秋田杉でエッセンシャルオイルを作って販売する」という構想を立てた。

つながりが生まれ、事業が動き出す

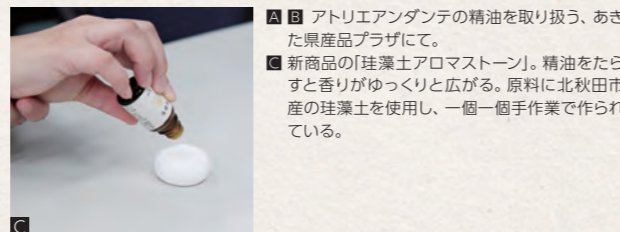
情報収集を始めると、秋田県立大学の研究所が既に、杉の精油(エッセンシャルオイル)の抽出に成功、効能についても確認済みであることが分かった。杉の葉や枝など、製材に不要な部分は林にそのまま捨てられている。これらは林地残材と呼ばれ、近年増加が懸念されているため、活

用法の研究が産官学連携で進められていた。

佐藤さんは、研究の中心人物であった秋田県立大学 木材高度加工研究所 元所長の谷田貝光克博士に直接コンタクトをとり、精油の抽出法などを習得。委託先も紹介してもらった。当センターに相談し、葉を提供してくれる伐採業者も見つかった。こうして多くの業者と連携し、葉を新鮮な状態で採取し、精油を抽出、製品化・販売する事業が動き出した。

この事業で佐藤さんは、当センター主催の「あきたビジネスプランコンテスト2015」で優秀賞を受賞。持ち前の行動力と、多くの人とのつながりによって実現した事業は、秋田の眠れる資源を有効活用した成功事例として期待を集めている。今後は、販路拡大のための営業活動、さらなる新商品の開発と、佐藤さんの挑戦は続いていく。

※「あきたビジネスプランコンテスト2017」は10月12日(木) 秋田拠点センター・アルヴェ2階多目的ホールにて開催



A B アトリエアンダンテの精油を取り扱う、あきた県産品プラザにて。
C 新商品の「珪藻土アロマストーン」。精油をたらずと香りがゆっくりと広がる。原料に北秋田市産の珪藻土を使用し、一個一個手作業で作られている。

事業概要 あきたビジネスプランコンテスト

県内での創業・起業意識の醸成と、独自性のある経営計画を持つ起業家を発掘するため、年に1回開催するコンテストです。
●Facebook【あきたビジネスプランコンテスト】でも情報を発信しています。

あきた企業活性化センター/総合企画部
総合相談課
(018-860-5610)まで。

お問い合わせ

CASE 2

イベント列車で集客力アップ

[秋田内陸縦貫鉄道株式会社 | <http://www.akita-nairiku.com/>]

〒018-4613 秋田県北秋田市阿仁銀山下新町 41-1 / TEL. 0186-82-3231・FAX. 0186-82-3793
n-info20@akita-nairiku.com

「沿線地域とともに発展を目指します」と松橋勝利部長



存続の危機を乗り越えて 地元観光の活性化を目指す

生き残りをかけて観光鉄道へ

周辺人口の減少などから、一時は存続すら危ぶまれた「秋田内陸縦貫鉄道」。現在、「あきた美人ライン」という愛称のもと多くのイベントを開催し、沿線地域の観光資源を活かしながら乗客の増加を目指している。内陸線とバスで沿線の観光地を巡るツアーの他、農家のお母さんたちの手料理が楽しめる「ごっつお玉手箱列車」、車両基地で子どもたちを対象に行っている「鉄道基地見学」など、工夫を凝らした企画が目白押しだ。

秋田犬の魅力伝えて観光PR

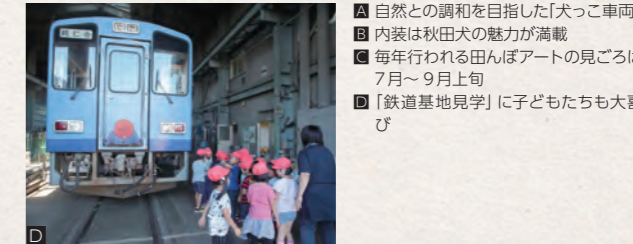
県では2016年12月から、内陸線を含む角館駅から旧小坂駅までを「秋田犬ふれあいライン」と銘打ち、秋田犬に実際に会える観光コースとして国内外にPRしている。そこで、当センターの産業デザイン支援センターに相談して、「犬っこ車両」を制作した。車両の外観は、秋田の原風景を損なわないシンプルなデザイン。一方、内装はたくさんの秋田犬の写真などがディスプレイされ、オレンジ色の

シートも犬っこ柄で、賑やかなイメージだ。観光客のためのエンターテインメント性を追求しながら自然や地域との調和も忘れない。そんな内陸線の思いを体現した車両となっている。

また、内陸線では沿線5ヵ所で「田んぼアート」を制作。走行中の車窓からが一番きれいに見えるように作られており、今年のテーマは「秋田犬と四季」。犬っこ車両と相まって、今年の内陸線は秋田犬一色だ。

利用客の減少が深刻な内陸線だが、前田南駅が人気アニメ映画の聖地と言われるなど、明るいニュースも多い。2016年度は台湾からの観光客が1万5千人を超え、前年比で倍増した。

「内陸線が観光の拠点となって、沿線地域とともに発展していきたい」と総務企画部長の松橋勝利さん。観光鉄道としての今後に期待だ。



A 自然との調和を目指した「犬っこ車両」
B 内装は秋田犬の魅力が満載
C 毎年行われる田んぼアートの見ごろは7月～9月上旬
D 「鉄道基地見学」に子どもたちも大喜び

事業概要 産業デザインに関する助言

産業デザイン、製品開発、マーケティング等についての専門的な助言やデザイナーとのマッチング、コーディネートを行います。

あきた企業活性化センター/総合企画部
知財・デザイン支援課(あきた産業デザイン支援センター)
(018-860-5614)まで。

お問い合わせ